

事業名	火災原因調査鑑識・鑑定連携事業					連携市町
事業内容	北九州市消防局が保有する鑑識・鑑定資器材を活用し、圏域内で発生した火災原因を究明してその結果を合同研修会や会議等で共有し、火災予防啓発及び職員研修を行うことで連携市町の安全・安心に寄与する。					全市町
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・消防職員全体の知識・技術の向上 ・効率的かつ質の高い火災原因調査の実施 ・火災予防対策に大きく貢献 					
事業費（千円）	R8	R9	R10	R11	R12	備考
	—					
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。				
	連携市町	・本事業の推進に協力する。				
費用負担（基本方針）	・事業費の発生が見込まれる時は、連携市町を構成する消防本部と協議し決定する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	鑑識・鑑定及び研修・会議等実施件数	5件（令和7年度）			25件（令和12年度までの累計）	

事業名	遠賀川流域市町による災害時の避難者受入れに関する連携体制の構築					連携市町
事業内容	遠賀川流域の広域避難を視野に入れた市町村の連携に関する方策を検討し、体制を整備する。					北九州市、直方市、中間市、宮若市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、香春町
効果	・遠賀川流域住民の安全確保					
事業費（千円）	R8	R9	R10	R11	R12	備考
	—					
役割分担	北九州市	・事業実施に向けた検討等を行う。				
	連携市町	・事業実施に向けた検討等に協力する。				
費用負担（基本方針）	・事業費の発生が見込まれる時は、連携市町と協議し決定する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	連携体制を構築した市町村	0市町（令和7年度）			11市町（令和12年度）	

事業名	大規模災害時の支援に関する連携体制の構築					連携市町
事業内容	大規模災害発生時に、圏域の市町が協力して被災地の支援を行えるよう、連絡体制の整備や情報共有などによる連携体制の構築を図る。					全市町
効果	<ul style="list-style-type: none"> 支援体制の強化 圏域内での相互支援を含めた、防災力の向上と迅速な支援の実施 					
事業費（千円）	R8	R9	R10	R11	R12	備考
	—					
役割分担	北九州市	・事業実施に向けた検討等を行う。				
	連携市町	・事業実施に向けた検討等に協力する。				
費用負担（基本方針）	・事業費の発生が見込まれる時は、連携市町協議し決定する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	定常的な情報交換	年1回			年1回	

【連携協約】	
g 環境	

事業名	環境保全・循環型社会構築に向けた取組の推進					連携市町
事業内容	「北九州市循環型社会形成推進基本計画」に基づき、圏域全体の環境保全・循環型社会構築に向けた取組を推進する。					北九州市、直方市、行橋市、中間市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、みやこ町を中心に全市町
効果	<ul style="list-style-type: none"> 圏域内の長期・安定的な廃棄物処理体制の構築 圏域内の一体的な取組による循環型社会の構築 高性能な処理施設による低炭素化の推進（廃棄物発電） 都市間連携による一体的な地域整備の取組推進 					
事業費（千円）	R8	R9	R10	R11	R12	備考
	5,917					
役割分担	北九州市	<ul style="list-style-type: none"> 連携市町とともに圏域内の環境保全・循環型社会構築に向けた取組を推進する。 福岡県、連携市町とともに広域的な観点を含めた廃棄物処理体制のあり方を検討する。 				
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> 北九州市と協力して取組を推進する。 北九州市、福岡県とともに広域的な観点を含めた廃棄物処理体制のあり方を検討する。 				
費用負担（基本方針）	・北九州市及び連携市町が適切に負担する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	北九州市と一般廃棄物処理基本協定を締結している市町の3R取組状況等の調査	年1回			年1回（毎年度実施）	

事業名	持続可能なまちづくりに資する脱炭素化の推進【再掲】					連携市町
事業内容	<p>国は「2050年までに脱炭素社会の実現を目指す」としており、全国的に脱炭素社会の実現に向けて動き出している。</p> <p>その中で、これまでの北九州都市圏域で実施してきた脱炭素への取組が評価され、令和4年4月に「脱炭素先行地域」に都市圏域として選定された。</p> <p>引き続き、既存の研修会の枠組みを活用し、情報共有や進捗をフォローアップすることで、脱炭素社会を目指す取組を推進する。</p> <p>また、再生可能エネルギーの導入拡大のため「再エネ100%北九州モデル」に示す3ステップのうち、「第三者所有による太陽光パネル、蓄電池の導入」「第三者所有方式による省エネ機器の導入」について、より一層推進する。</p>					全市町
効果	脱炭素社会を目指す取組を推進する。					
事業費（千円）	R8	R9	R10	R11	R12	備考
	100					
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。				
	連携市町	・本事業の推進に協力する。				
費用負担（基本方針）	・事業費の発生が見込まれる時は、連携市町と協議し決定する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	自家消費PV導入施設数	38施設			129施設	

事業名	風力発電関連産業の総合拠点の形成【再掲】					連携市町
事業内容	<p>若松区響灘地区において風力発電関連産業の集積や洋上ウインドファームの建設の核となる基地港湾を活用し、圏域内の企業との連携を通じて、風力発電関連産業の総合拠点の形成を推進する。</p>					全市町
効果	地域経済の活性化、風力発電関連産業の総合拠点の形成の推進					
事業費（千円）	R8	R9	R10	R11	R12	備考
	316,766					
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。				
	連携市町	・本事業の推進に協力する。				
費用負担（基本方針）	・北九州市が負担する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	4つの拠点機能の形成	2機能（令和7年度）			4機能（令和12年度）	

事業名	地域エネルギー政策の広域化【再掲】					連携市町
事業内容	<p>国は「2050年までに脱炭素社会の実現を目指す」としており、全国的に脱炭素社会の実現に向けて動き出している。</p> <p>その中で、これまでの北九州都市圏域で実施してきた脱炭素への取組が評価され、令和4年4月に「脱炭素先行地域」に都市圏域として選定された。</p> <p>引き続き、再生可能エネルギーの導入拡大のため「再エネ100%北九州モデル」に示す3ステップのうち、「公共施設の再エネ100%電力化」について、より一層推進する。</p>					全市町
効果	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの導入拡大 エネルギーの地産地消の推進 					
事業費（千円）	R8	R9	R10	R11	R12	備考
	—					
役割分担	北九州市	・本事業を推進するとともに、連携市町に助言・助力等の支援を行う。				
	連携市町	・本事業の推進に協力する。				
費用負担（基本方針）	<ul style="list-style-type: none"> 北九州市の役割分担に係る費用は、北九州市が負担する。 事業費の発生が見込まれる時は、連携市町と協議し決定する。 					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	再エネ100%等電力導入市町数	11市町			17市町（令和9年度）	

事業名	圏域におけるGX推進事業【再掲】					連携市町
事業内容	<p>「北九州GX推進コンソーシアム」を軸とした圏域内企業に対し、GX人材の育成や伴走支援による企業のGX支援等を通じて、地域企業の変革を支援する。</p>					全市町
効果	<ul style="list-style-type: none"> 北九州GX推進コンソーシアムを通じた圏域企業の変革を支援。（同コンソーシアムの入会は無料、圏域は専門家伴走支援の対象エリア） 					
事業費（千円）	R8	R9	R10	R11	R12	備考
	39,070					
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。				
	連携市町	・本事業の推進に協力する。				
費用負担（基本方針）	・原則として北九州市が負担する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	GX関連の新ビジネス創出企業数	3件（令和5～6年度）			30件（令和5～12年度）	

【連携協約】
h 上下水道




事業名	上水道事業の発展的広域化の検討					連携市町
事業内容	双方にメリットのある発展的広域化に向けた検討を行う。					全市町
効果	<ul style="list-style-type: none"> 安定した水道サービスの維持 連携市町水道事業の経営改善 					
事業費	R8	R9	R10	R11	R12	備考
	1,033					
役割分担	北九州市	・上水道事業の広域化に向けた検討を行う。				
	連携市町	・上水道事業の広域化に向けた検討を行う。				
費用負担（基本方針）	・事業費の発生が見込まれる時は、連携市町と協議し決定する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	水道広域セミナーの開催回数	1回（令和7年度）			1回/年（令和8年度～令和12年度）	

事業名	下水道事業の広域化・共同化の検討・協議					連携市町
事業内容	下水道事業において、双方にメリットのある広域化・共同化に向けた検討・協議を行う。					全市町
効果	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理費の削減 事務処理の効率化 					
事業費（千円）	R8	R9	R10	R11	R12	備考
	—					
役割分担	北九州市	・下水道事業の広域化について検討を行う。				
	連携市町	・北九州市と協力し、事業の広域化に向けた検討を行う。				
費用負担（基本方針）	・事業費の発生が見込まれる時は、連携市町と協議し決定する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	連携市町村との勉強会等開催回数	15回（令和7年度）			1回/年（令和8年度～令和12年度）	

(2) 圏域内外の結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

【連携協約】							
a 地域公共交通							
事業名	筑豊電気鉄道確保維持改善事業					連携市町	
事業内容	筑豊電気鉄道においては、老朽化に伴う車両設備や、安全施設の更新などの確保維持改善事業を進めている。 この確保維持改善事業に対して、国の補助（地域公共交通確保維持改善事業費補助）に合わせて、福岡県、沿線3市（北九州市、中間市、直方市）とともに、支援を行う。					北九州市、直方市、中間市	
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・安全生の向上や利用者の信頼獲得 ・利便性の向上 ・路線の維持・存続 ・交通事業者の経営安定 						
事業費（千円）	R8	R9	R10	R11	R12	備考	
	10,050						
役割分担	北九州市	・事業に対する補助金を負担する。					
	連携市町	・事業に対する補助金を負担する。					
費用負担（基本方針）	・費用は、県及び連携市町での協定に基づき負担する。						
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）		
	国要望活動を共同で実施（補助による統支援）	1回/年（令和7年度）			1回/年（令和12年度）		

【連携協約】							
b 情報通信技術インフラの整備							
事業名	圏域における地理空間情報プラットフォーム等整備事業					連携市町	
事業内容	道路・河川、災害対策・観光PR・地域医療などの分野において、圏域で情報を共有するため、地理空間情報プラットフォームの広域展開を図る。 また、職員のプラットフォーム活用スキル向上のため圏域市町合同で勉強会開催などに取り組む。					全市町	
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な分野での業務の効率化 ・住民サービスの向上 						
事業費（千円）	R8	R9	R10	R11	R12	備考	
	60,465						
役割分担	北九州市	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業を推進する。 ・広域展開のため、圏域市町と協議を行う。 					
	連携市町	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業の推進に協力する。 ・未利用の市町は、利用開始について検討する。 					
費用負担（基本方針）	・事業費の発生が見込まれる時は、連携市町と協議し決定する。						
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）		
	G-mottyの月間訪問者数	14,873人/月 (R7.2月～R8.1月の月平均)			15,000人/月 (令和12年度月平均)		

【連携協約】

c 交通インフラの整備及び維持



事業名	圏域内道路交通のネットワーク化にかかる連携					連携市町
事業内容	陸・海・空のネットワークの構築や近隣自治体との連携などの「稼げる基盤」を強めていくための道路整備を進める。 また、北部九州エリア全体でメガリージョンを形成し、アジアを見据えた産業や人材の集積、観光誘客など北九州都市圏域の交流や連携を支える道路整備を推進する。					全市町
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地の促進 ・利便性の向上 ・圏域内の交流促進 					
事業費（千円）	R8	R9	R10	R11	R12	備考
	3,700,900					
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。				
	連携市町	・本事業を推進する。				
費用負担（基本方針）	・事業費の発生が見込まれる時は、連携市町と協議し決定する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	都市計画道路の整備率	84.5%(令和6年度)			85.9%(令和12年度)	

事業名	東九州自動車道の整備促進に係る要望活動の連携					連携市町
事業内容	東九州自動車道の早期完成に向け、国やNEXCO等関係機関への要望を連携して行う。					北九州市、行橋市、豊前市、苅田町、みやこ町、上毛町、築上町、吉富町
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・東九州地域の広域物流の促進、広域的な産業・経済の発展 ・大規模災害時のリダンダンシーとしての効果 					
事業費（千円）	R8	R9	R10	R11	R12	備考
	1,873					
役割分担	北九州市	・本事業に係る連絡・調整及び資料作成を行う。				
	連携市町	・本事業の推進に協力する。				
費用負担（基本方針）	・事業費の発生が見込まれる時は、連携市町と協議し決定する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	要望活動の実施回数（年度毎）	2回（令和7年度）			2回（令和12年度）	

【連携協約】	
d 地産地消	

事業名	学校給食における地産地消推進事業					連携市町
事業内容	学校給食の食材について、まずは市町内産を、次に圏域内産を優先的に使用する。また、圏域内の地場産物や郷土食等を取り入れた献立の活用を推進する。					全市町
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒への教育効果（食育、郷土愛） ・圏域内の農業振興への寄与 					
事業費（千円）	R8	R9	R10	R11	R12	備考
	—	—	—	—	—	
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。				
	連携市町	・本事業を推進する。				
費用負担（基本方針）	・事業費の発生が見込まれる時は、連携市町と協議し決定する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	圏域内の郷土食等を取り入れた給食実施回数	1回（令和7年度）			5回（令和8～12年度までの累計）	

【連携協約】	
e 交流及び移住の促進等	

事業名	こども文化パスポート事業					連携市町
事業内容	こどもたちが地域の文化・歴史・自然に接することにより、豊かな心を育むとともに親子のふれあう機会を増やすことを目的として、夏休み期間に文化施設をはじめとする様々な施設に無料または一部割引で入場できるなど、施設で特典が受けられるパスポートを配付する。					直方市、行橋市、豊前市、中間市、宮若市、芦屋町、水巻町、岡垣町、遠賀町、小竹町、鞍手町、香春町、苅田町、吉富町、上毛町（圏域外：下関市、長門市） ※※令和7年度実績
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化・歴史・自然に多く触れ、豊かな心を育む機会の提供 ・親子が触れ合う機会の増加 ・地域の魅力を発信できるキーパーソン輩出への寄与 					
事業費（千円）	R8	R9	R10	R11	R12	備考
	—	—	—	—	—	
役割分担	北九州市	・本事業を推進する。				
	連携市町	・本事業の推進に協力する。				
費用負担（基本方針）	・事業費の発生が見込まれる時は、連携市町と協議し決定する。					
重要業績評価指数（KPI）	指標	現状値（調査時点）			目標値（達成年度）	
	参加自治体の数	6市10町			参加自治体の増	